

小学校からの教科専門性向上事業

アンケート集計結果（自由記述部分について）

【教員用アンケート結果から】

学力向上

○児童の学力が向上してきている。教科担任制は成果があがるのではないか。

指導力向上

○自分の専門教科以外の授業を参観させていただくことは大変勉強になった。

○専科の先生と一緒に授業をすると学ぶことが多く有り難い。

▲自分の専門以外の授業について学ぶ機会がなくなるのは不安。

生徒指導

○多くの児童と接することにより、職員室で児童のことを話題にする機会が増えた。

○学級経営上よい影響がある。

▲学級経営上よい影響があるとはいえない場合もある。

仕事のやりやすさ

○苦手な教科を専科の先生にやっていただくことは、心理的にも時間的にも有り難い。

▲専門教科を他学年にまたがって教えることはやりやすさがあるものの、仕事量が少なくなることはない。

▲教科によって授業の準備や授業時数に差が出て、仕事量の均一化が難しい。

【保護者用アンケート結果から】 ※（ ）内は学年

学力向上

- 教科の専門の先生が授業をすることはとても心強い。(1)
- 学年があがるにつれて学習内容が難しくなるので、専門の先生に教えてもらえるのはよい。(4)
- 音楽や体育、図工など専門性の高い教科はメリットが大きいと思う。(4)
- 専門的に+αの知識を交えて学習できているので本人も楽しんでいる。(5)
- 全教科、教科担任制がよい。(5)
- 教科担任の先生が授業中に話した話を家で話したりして、子ども自身がとても興味深く授業を受けているように思う。特に社会。今まで読んだことのない歴史の本などを熱心に読んでいる。(6)
- 家庭学習が、教科の特性を生かした内容の濃いものになってきている。教科に関わる具体的な学習指導がしていただけることがうれしい。(6)
- ノートを取り方など、先生によって指示が違い、子どもがとまどうことがある。(5)
- 「教科担任の先生は自分の名前を知らないのかも知れない」という相談を子どもから受けた。名前も覚えていないのにどのように評価するのか。(5)
- 今まで先生に一度もあてられていない子がいるという話を聞いた。授業でしか子どもと会わないので、それで評価できるのか少し心配。(6)
- ・国語、社会、算数、理科は、学級担任が教えるのが望ましい。(4)
- ・算数は、子どもの理解度や実態を考えて教科担任制よりTTの方がよい。(6)

生徒指導

- いろんな先生と関わりがもて、多くの先生目で見てもらえるのは有り難い。(1)
- 学級担任に朝の会や帰りの会を見ていただいているので、不安は感じない。(4)
- 担任と過ごす時間が減り、つながりが希薄になるとの心配はあったが、担任の先生方が努めて1人1人声をかけてくださっているようで安心した。(6)
- 担任の先生が見る時間がとても少ないのが気になる。(5)
- 生活全般を通じて子どもをとらえるという小学校に必要な視点がおろそかになるのではと心配になる。特にメンタルな部分での支援が学力よりも重要で小学校の時期には担任がじっくりゆっくりに子どもとつきあうのが大切なのではと感じる。(6)

その他

- 中学校に向け、教科担任制になれるのはよい。(4)
- ・あまり保護者の意見に左右されることなく、教育者の方々の志を貫いてほしい。(6)
- ・先生方の連携が強ければ、なおさら安心してお任せできる。(5 or 6)